

# 歴史的鋼橋の補修・補強セミナーテキスト

登録 番号	平成22年3月18日
	第 57336 号
社団法人 土木学会	
附属 土木図書館	

平成 18 年 11 月 15 日

土木学会 鋼構造委員会

歴史的鋼橋の補修・補強に関する調査小委員会

## はじめに

近年、歴史的建築物や歴史的街並みなどとともに、土木構造物に対する歴史的側面への関心は高まる傾向にあります。こうした中で、国内の鋼橋ストックにおいては橋齢が50年を越えるものがストック全体に占める比率は2010年以降に急速に増加することになり、その中には歴史的、文化的に価値の高い鋼橋が数多く含まれています。その維持管理においては安全性や耐久性、使用性に加え、新たな機能と言える歴史性を考慮した補修・補強を求められるケースが増加するものと予測されます。このため、土木学会では平成15年度に鋼構造委員会の中に、「歴史的鋼橋の補修・補強に関する調査小委員会」を設置し、歴史的鋼橋の補修・補強のための調査研究を開始しました。国内外の歴史的鋼橋を中心とする土木構造物の補修・補強事例に関する調査を踏まえ、歴史的価値を有する鋼橋に対する補修・補強の方向性について議論を重ねた成果として「歴史的鋼橋の補修・補強マニュアル」を策定しました。本セミナーではマニュアルの狙いや考え方とともにその具体事例を紹介します。

平成18年11月15日

土木学会 鋼構造委員会

歴史的鋼橋の補修・補強に関する調査小委員会

## 目次

1. 歴史的鋼橋とマニュアルの狙い	1-1
2. 国内外の現状とマニュアルにおける保全方針	2-1
3. 保全事例の紹介	3-1
4. 実務上の留意点	4-1

---

## プログラム

13:30～14:35	開会の挨拶
13:35～14:15 (40分)	歴史的鋼橋とマニュアルの狙い
14:15～15:00 (45分)	国内外の現状とマニュアルにおける保全方針
15:00～15:10	< 休憩 >
15:10～16:15 (65分)	保全事例の紹介
16:15～16:45 (30分)	実務上の留意点
16:45～16:55	全体の質疑応答
16:55～	閉会の挨拶

上記の時間割には、各セッションの質疑応答時間(5分程度)を含む。